



バドミントン愛知

No.
144

平成31年3月 発行者／愛知県バドミントン協会 編集者／広報委員会

第54回 愛知県社会人バドミントン選手権大会

平成31年1月20日に名東SC、27日に志段味SC、名古屋経済大学市邨記念体育館で開催された。

男子シングルス 初優勝の王者は優しい仲間思い 松村健太選手(JTEKT)

昨年3位の結果を残し、今年は優勝候補のひとりとして名が挙がっていた松村健太選手。ダイナミックなジャンピングスマッシュを打ったかと思えば、巧みにヘヤピンを決め、相手を翻弄する。貫録も漂うが、本人は「一戦一戦挑戦者だ…という気持ちでやるだけ」と謙虚な言葉。決勝は同チームの松本康平選手と戦う予定が棄権の為、不戦勝になってしまった。

「今年初めての優勝は、自分にも、チームにとっても幸先が良いこと。2月のS/Jリーグも、一丸となって頑張っていく」と、チーム思いの素敵な優勝コメントであった。



松村健太選手

女子シングルス 社会人2年目の新女王 肥田木あかり選手(東海興業)



肥田木あかり選手

決勝の相手は、前々回の優勝者、井上洸選手(東海興業)。チームの先輩だ。お互い手の内を知っているだけに、どちらが勝ってもおかしくない戦いを制したのは、肥田木あかり選手。「最後まで粘られたかな」と話した通り、コートの中を軽やかなフットワークで駆け回り、とにかくシャトルを拾いまくり、こごぞという時には力強いスマッシュを決めていく。

「社会人になって初めて優勝できてよかったです」と、コートの中のパワフルな選手と同じ人とは思えないほど、かわいらしく優しい声で喜びを伝えてくれた。「レベルアップして、全国で通用する選手になりたい」と語り、今後の活躍が期待できる選手のひとり。頑張ってもらいたい。

混合ダブルス 学生時代の同窓生ペア 海谷慎吾選手(ウィスター)永田麗選手(さおりBC)

とても息のあったプレーなので、ペアを組んで長いのかと思いきや、「普段は別々のチームでやっている。高校(青森山田)の先輩後輩で、たまたま再会し、せっかくなので組んで出てみようか…」と出場した。

海谷選手は「実業団の選手に勝って、率直に嬉しい」

永田選手は「チャレンジャーという気持ちで試合を楽しんだ」と話し、勝因は「愛の力かな？仲がいいところ？」と言う海谷選手に「先輩が引っ張ってくれる(?)ところかな…(笑)」と突っ込む永田選手。

どの試合も真剣に、だが、とても楽しそうにプレーしている姿が印象的であった。



(広報委員 鈴木由紀江)

(左) 海谷慎吾選手 (右) 永田麗選手

一般男子ダブルス 社会人リーグからの刺客、鈴木・深尾組が混戦を制す

一般男子ダブルスは25ペアが参加。昨年ベスト4を独占したJTEKTチームが不参加のため、大混戦となった。



(左) 深尾淳選手 (右) 鈴木陵麻選手

その中を抜け出し、決勝進出を果たしたのは、第1シードを破った桂秀典・窪田侑生(豊田自動織機)組と、実業団の牙城を接戦を耐え忍びながら切り崩した、社会人リーグの鈴木陵麻・深尾淳(はりーあっぷ)組であった。

「(前回の上位者がいないので)絶対に優勝するぞ」の思いで練習を続けてきた鈴木・深尾組が、決勝戦を終始攻め続けて、優勝を勝ち取った。試合後「この優勝を、次の全国クラブチーム大会、団体戦勝利に繋げていく」と、力強く誓い合っていた。

一般女子ダブルス シングルスの覇権を争った2人が初めてペアを組んで優勝！

一般女子ダブルスは15ペアの参加の下、決勝は井上 洸・肥田木あかり組と杉山利奈・園田絵里奈組の東海興業どうしでの戦いとなった。お互いミスが少なく、長くラリーが続く試合展開のまま、1ゲームずつを取り合い、ファイナルゲームにもつれ込んだ。このゲームも12オールまで接戦だったが、井上・肥田木組が粘り、18-12まで一気に抜け出し、そのまま21-16で押し切った。

シングルスの優勝を争った井上と肥田木は、今回初めて組んだペアだが、ダブルスが得意の杉山・園田組が「低い展開」を好むことを熟知しており、その展開に持ち込ませないよう心掛けたことが功を奏したようだ。

「新年最初の試合で、ダブルス、シングルス共に良い成績を取れたので、このままだんどん上を目指したい」と抱負を語ってくれた。



(左) 肥田木あかり選手 (右) 井上洸選手

(広報副委員長 天埜 良彦)

	男子シングルス	女子シングルス	混合ダブルス	男子ダブルス	女子ダブルス
30歳以上	桂 秀典 (豊田自動織機)	浅見 佳世 (Bud Bud)	村添 幸徳(岩倉パラレル) 林田由紀子(大府)	藤川 拓也(ウィスタリア) 奥野 静修(Rise BC)	林田由紀子(大府) 伊藤早央吏(春日井)
35歳以上	立松 幹浩 (東海クラブ)	富岡 茉美 (三好)	多久島一慶(紫電会) 川崎 史恵(B-crew)	岡 祐介(Rise BC) 川口 拓史(Rise BC)	山台 まみ(Tsutsumi) 田中江理子(Tsutsumi)
40歳以上	中島 正人 (貴船BC)	外山真理子 (横須賀クラブ)	篠原 彰(不老クラブ) 田中江理子(Tsutsumi)	百丸 祐輝(ウィスタリア) 磯貝謙太郎(紫電会)	高倉あゆみ(RHBT) 真田 範子(G spank)
45歳以上	中島 信頼 (個人登録)	富田 佳美 (RHBT)	梶田 秀明(紫電会) 梶田 恭子(RHBT)	佐藤 雅史(RSノナカ) 清水 誠司(振甫クラブ)	小佐々美千代(Tsutsumi) 前田 久美子(Tsutsumi)
50歳以上	森本 順 (名北クラブ)	野村 敬子 (岡崎フェニックス)	松原 伸幸(貴船BC) 山西智佳子(岡崎フェニックス)	松原 伸幸(貴船BC) 岡本 哲哉(フライト)	市野 寿子(JUPITER) 小池由紀子(ウィスタリア)
55歳以上	岩渕 信司 (豊田自動織機)		新田 正喜(BSモリタ) 門間由美子(豊田)	船木 勝正(大門BC) 成瀬 達吉(大門BC)	西川 福美(岡崎フェニックス) 井上 貴子(名古屋徳川)
60歳以上	佐野 章 (ブッチャーズ)		川原 雅治(名北クラブ) 水野恵以子(SETOMINTON)	齋藤 敏和(横須賀クラブ) 加藤 元久(中川シャトル)	杉本美佐子(名古屋あすなろ) 水野 良子(小牧)
65歳以上	浅野 勇 (岩倉パラレル)		武田 正雄(個人登録) 武田 京子(刈谷)	武田 正雄(個人登録) 上前 茂人(大門BC)	城 明美(ブッチャーズ) 佐野 信子(ベアーズ)
70歳以上	荒井 和夫 (桜井BC)		園部 繁夫(東海シャトルズ) 吉見千津子(蒲郡)	園部 繁夫(東海シャトルズ) 荒井 和夫(桜井BC)	

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

パドミントンプロショップ
リーダース グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

(有)リーダース

代表取締役 東田修光

TEL・FAX(052)703-2767

JTB バドミントン S/Jリーグ2018刈谷大会

街角にジングルベルの音色も賑やかな、平成30年12月23日(日)、刈谷市体育館で刈谷大会が開催された。地元チームJTEKTがS/Jリーグ昇格後、初めてホームで戦う試合とあって、近隣県のバドミントン愛好者も駆けつけ、約2,000名の観戦者の熱い視線と声援の中、試合が始まった。

Sブロック初勝利を目指して、対戦するのはトリッキーパンダース。松本岳、小林晃組の第1ダブルスは、大接戦となったが、惜しくも敗れた。続くシングルスで、松村健太選手が第1ゲームを取り、息詰まる展開となった第2ゲームをも制し、第2ダブルスに繋げた。北林悠、尾野拓郎組は、危なげなく完勝し、トータル2-1で勝利した。

女子は、NTT東日本と岐阜トリッキーパンダースとの対戦。NTT東日本が順当に2-1で勝利したが、再春館製薬所から移籍した女子ダブルス世界ランキング1位の福島由紀、廣田彩花組が出場し、卓越したテクニックとパワーで観客を魅了し、会場は大いに盛り上がった。

(実業団連盟 理事長 井上龍)

◇刈谷大会を戦って◇

念願のS/Jリーグ初参戦である我がJTEKTチームは、既に2敗を喫しており、正念場の大会でした。

第1ダブルスをファイナル19本で取られた時は、チーム全体が非常に重苦しい雰囲気でしたが、場内の大きな声援とたくさんの拍手が味方になり、第1シングルス、第2ダブルスで快勝し、嬉しい初勝利を収めることができました。皆様の熱い応援のおかげです。本当にありがとうございました。また、大会運営にご協力いただいた役員・関係者の皆様、お世話になりました。ありがとうございます。

2019年度は、11月10日(日)刈谷市体育館で開催されます。変わらぬご支援と応援、引き続きよろしくお願いします。

(JTEKT 副部長 峰登志郎)



試合風景



刈谷大会の試合会場

◇祝！東海興業 入れ替え戦に勝利しS/Jリーグ2019に参戦◇

S/JリーグII2018に参戦していた東海興業が優勝し、2月24日(日)立川市にて行われた入れ替え戦でトリッキーパンダースを2-1で下し、見事S/Jリーグ昇格を果たしました。S/Jリーグ2019は、6位残留となったJTEKTと新鋭の東海興業の地元2チームが、出場します。両チームの益々の活躍が楽しみです。

テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ

NONAKA

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。

 YONEX®

第27回 全国小学生バドミントン選手権大会

平成30年12月24日～12月28日、東京都八王子市エスフォルタアリーナ八王子で開催された。

準優勝した福岡県相手に大健闘した男子団体戦はベスト8。個人戦では6年生～4年生以下、シングルス8名、ダブルス13組が出席し、以下の通り、輝かしい成績を収めた。

(広報委員 鈴木由紀江)

☆4年以下女子ダブルス 優勝

(はりーあっぷジュニア)



県明日香…飛び上がるぐらい嬉しかった。とにかく攻めた。
藤井 詩…最高に嬉しい。リードされても弱気にならず、スマッシュを打ち続けた。

☆5年以下女子ダブルス 3位

(師勝ジュニア)



伊藤菜央加…負けて悔しかった…。
岡本 芽…連覇を目指して頑張ってきた。悔しいけど、銅メダルがとれて嬉しい。

☆4年以下男子シングルス 3位

(はりーあっぷジュニア)



山脇弘獎…満足していない。競った場面でも、冷静に最後まで試合が出来た。

☆5年以下男子シングルス 3位

(大里東ジュニア)



長束翔太…嬉しいけど、準決勝で負けた悔しさの方が大きい。大きな声を出して弱気なプレーをしないように心掛けた。

愛知県バドミントン協会創立70周年祝賀会

平成31年2月3日(土)午後1時より、名古屋マリオットアソシアホテル16階アイリスの間に160名の参加を得て、祝賀会が盛大に開催されました。

関根日本バドミントン協会副会長や、村木愛知県体育協会事務長をはじめ、多くのご来賓にご臨席いただき、初めに末岡県協会会长から、会員数が1万3千人を超えるまでになったことや、毎年様々な全国大会を主管・開催してきたこと等、当協会のこの10年間の歩みについてご紹介があり、これらの活動に日頃からご支援、ご協力いただいている関係者の皆様に対し感謝のお言葉がありました。続いてご来賓を代表して、関根副会長と村木理事長からご祝辞を賜りました。最近の日本バドミントン代表選手の目覚ましい活躍への賛辞とその勢いを東京オリンピックにつなげ、そして更なるバドミントン界の発展を願う明るいお話しが続き、その後来賓紹介と祝電披露、そして上原副会長による乾杯の発声で楽しく賑やかな宴が始まりました。出席者の多くが、各テーブルを廻り、杯を交わし、歓談し、親睦を深める中、アトラクションの「全国うまいもの抽選会」もあり、結びに清水副会長が閉会の辞を述べられ、2時間にわたる祝賀会はお開きになりました。



末岡会長 挨拶

(広報委員長 岩田崇)

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 山田 順一郎



桜前線の便りも聞かれ何かと心なごむ時期となり、会員各位におかれましては一層バドミントンを楽しんでおられることと思います。さて、年度末を迎えるにあたり、月並みですがこの1年を振り返ってみることにしましょう。

先ずは、全日本教職員大会、JTB S/Jリーグ2018、全日本シニア大会の3つの第1種大会を開催いたしました。いずれの大会も、会員各位と開催地のご協力のもと、成功裏に終えることができました。心より感謝申し上げます。

強化、指導につきましては、名経大市郷高校がインターハイ女子団体で3位、久湊選手が全国中学生大会女子シングルスで準優勝、そして縣・藤井組が全国小学生大会4年生以下女子ダブルスで優勝など、今年度もジュニア選手の強化、指導の成果の表れた1年でありました。

また、慶弔面に目を向けて、弔事では、6月に後藤名譽会長ご逝去の訃報に接しましたこと、心よりご冥福をお祈り申し上げます。慶事では、11月に末岡会長が旭日中綬章を授章され、不肖私が愛知県表彰を受賞したという喜ばしいこともございました。

以上とりとめもなく1年を振り返させていただきました。改めまして、この1年間の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

文末になりますが、1月号の年頭挨拶において愛知県バドミントンナショナルセンターの開設構想の下りがありました。これは日本バドミントン協会ナショナルチーム入りをしている本県選手、ナショナルチーム入りが期待される選手をターゲットに、お互いが切磋琢磨し、目標をもって強化に専念できる環境づくりの構想を述べたものであります。皆様には、あたかもナショナルトレーニングセンターを設置するかのよう誤解を招いた表現になりましたことをお詫び申し上げます。

審判連載

「着衣上の表示について」

水野 慶介



皆さんは、着衣に表示する文字やロゴに関して、様々な規定がある事をご存知でしょうか？

大会運営規程第4章第24条に、着衣上の表示に関する取り決めが記載されています。その内容が、平成31年4月に改定されます。主な点は、背面に表示が認められている3行の文字列が「単一色で同色」と明言されました。但し、2019年度中の施行は猶予されています。他にも数点の改定が行われ、現在着用しているウェアがそのままでは着用できない可能性があります。

このように、競技規則はじめ各種の規程は、改訂が伴いますので、情報収集に努めてください。

勝つための本物——

GOSEN
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社／TEL.06-7175-7115 FAX.06-6538-8238

西三河のバドミントン専門店

モリモリ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

愛知のホープ

こうべそうま 河辺颯真(名古屋経済大学市邨高校)



名古屋経済大学市邨高校1年生の河辺颯真選手を紹介します。

田原市の出身で、小学校時代はT-JUMPジュニアに所属し、現在もダブルスパートナーの志賀伊吹選手とペアを組み、全国小学生大会ベスト4の実績を持っています。

名古屋経済大学市邨中学校に進学。毎日約2時間かけて通学しながら、チームのエースダブルスとして活躍し、全国中学生大会団体ベスト8の実績を残しました。個人戦では、ベスト8をかけた浪岡中学校との試合。マッチポイントを握りながらもファイナル延長ゲームの大接戦の末、敗れました。コートに倒れこんで涙を流し、悔しい敗戦を経験しました。

性格はとても明るく、いつも一生懸命。大きな声を出して練習に取り組み、チームのムードメーカー的な存在です。小柄ながら、力強いスマッシュとスタミナを活かした粘り強さを持っています。

昨年11月に開催された愛知県高等学校新人戦では、団体とダブルスにおいて優勝。シングルスでもベスト4進出を果たしました。その後、今年1月に行われた東海選抜大会でも、ダブルス(志賀伊吹選手とペア)で優勝。決勝では、格上相手にファイナルの大接戦の末勝利し、1年生ながら東海地区を制し、全国選抜への切符を手にしました。

とはいってもまだ全国トップクラスの選手とは大きな差があります。県外の練習試合等では速いテンポについていけず、実力の差を痛感しています。全国の壁にぶち当たっている最中ですが、その中にこそ成長があります。中学校での悔しい敗戦を忘ることなく、常に「今の自分から変わること」を心がけ、全国ベスト4以上を目指し、全国レベルで戦う「準備」をして欲しいと思います。

(名古屋経済大学市邨中・高校 監督 稲垣翔悟)

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

ラブオール

を紹介します。

平成9年創設の社会人クラブチームです。核となったのは、職場のサークル活動でしたが、年を重ねるごとに様々なメンバーが集まり、今では愛知県社会人クラブ選手権大会に男子2チーム、シニア男子1チームの合計20名が参戦しています。

いずれのメンバーもサラリーマンですので、常に転勤辞令の恐怖にさらされていますが、バドミントンを愛する気持ちは不变ですから、「来るものは拒まず、去る者は追わず」をモットーに、一致団結してチームを盛り立てています。

活動は、毎週土曜日の午後、熱田生涯学習センターを拠点に、ゲーム練習を主としていますが、メンバーそれぞれが課題をもってゲームに臨んで、レベルアップを図っています。また、ビジターは、年齢・男女・レベルの高低を問わず、いつでも大歓迎です。

振り返ると、それなりに歴史はあるものの、メンバーの高年齢化に伴う体力低下で、近年の成績は振るいませんが「バドミントンを楽しむ」という気持ちでは負けるところはありません。それぞれの生活環境に違いはありますが、バドミントンを生涯スポーツと考え、競技活動にしのぎを削るのみならず、心と身体の健康維持を考慮しながら、誰もが楽しくプレイできるバドミントンクラブを今後も目指していきたいと考えています。

(ラブオール 評議員 高本俊哉)



連盟NEWS

レディースバドミントン連盟

◆第10回記念愛知オープンレディースバドミントン大会(団体戦)
期日:平成31年1月24日(木)・25日(金)・28日(月)～30日(水)
会場:日本ガイシスポーツプラザ 第2競技場

179チーム 1,144名

クラス	優勝チーム	地域
Aクラス1	スルガウィングスA	静岡
2	あじさい	半田
3	水鳥	奈良
4	フェニックス	岡崎
5	ぴくるす	刈谷
6	ぎふっ子	ぎふ
Bクラス1	百合	名古屋
2	緑	名古屋
3	カムリ	豊田
4	ばどんずA	滋賀
5	鴨谷クラブ	大阪
6	ばどんずB	滋賀
7	フレンズ	大阪
8	大阪UL	大阪
9	昭和	名古屋
10	松阪クラブA	三重
11	わかしゃち	名古屋
12	ラブリー	長久手
13	フットワーク	尾張旭
14	CLEAR'S	静岡
15	らんか	東郷
16	高山木曜クラブ	岐阜
17	プリマ・ドンナA	静岡
18	小俣レディースA	三重
19	トワインフル	安城
20	天白ウイン	名古屋
Cクラス1	しょうぶ	知立
2	スミレ	安城
3	MARIE	春日井
4	リボン	碧南
5	リゲル	岡崎
6	ベアーズ	一宮
7	霞クラブB	三重
8	クローバー	岐阜
9	MIX	京都
10	ネオス	一宮
11	ミラクル	一宮
12	May Angels	長野
13	シャトルズ	三重
14	ベアーフレンズ	一宮
Dクラス1	ペルセウス	岡崎
2	プロキオン	岡崎
3	モナミ	岐阜
4	おまめさん	埼玉

学生バドミントン連盟

平成30年12月1日(土)、2日(日)、15日(土)、16日(日)、至学館大学体育館にて、第63回愛知学生新人バドミントン選手権大会が開催されました。

昨年10月に行われたインカレにも出場した、愛知淑徳大学1年の加藤滉士選手が、シングルスと、ダブルス(同校 三好翔選手とペア)で優勝し、見事、2冠を達成しました。

「東海新人で悔しい思いをした。挑戦者として試合に挑み、大学で初めてタイトルを、また人生初の2冠を獲得できて嬉しかった」と試合後に語りました。

今後の活躍を大いに期待します。 (長谷川昂平)

高等学校体育連盟バドミントン部

1月13日～15日、26日の4日間に渡り、愛知県内各地の体育館で、学年別大会が開催された。県内ほぼ全ての、高校1,2年生が参加し、実人数は4千人近くになる、かなり大規模な大会である。男女、学年に別れ、シングルス、ダブルスのトーナメント戦をそれぞれ行った。結果は以下の通りである。 (大村悠介)

男 子		1年	2年
単	優 勝	太田 光哉 (市邨)	城川 真輝 (市邨)
	準優勝	河辺 鳩真 (市邨)	生田 陸 (城西)
複	優 勝	河辺・志賀 (市邨)	小山・清水 (名古屋)
	準優勝	稻垣・増本 (名電)	大石・小原 (名電)
女 子		1年	2年
単	優 勝	中山 うらら (市邨)	縣 菜々美 (城西)
	準優勝	山本 鈴乃 (城西)	奥山 寧々 (豊川)
複	優 勝	中山・岩野 (市邨)	縣・池田 (城西)
	準優勝	前田・木村 (市邨)	舟橋・佐藤 (市邨)

中小学校体育連盟バドミントン部

3月末の全日本中学生バドミントン選手権大会に向け、愛知県の選抜メンバー(男女各5名)を対象に、愛知県バドミントン協会と協力して強化練習会を行っています。東海興業を中心とした実業団選手にスパーリングをしてもらい、経験豊富な多くの実力者からのアドバイスによって、実力や意識の向上を図ることができます。

1月に行われたプレ大会では5位という好成績を収めました。本番ではプレ大会に参加しなかった県も多数参加することとなります、愛知県代表選手として全力で全国の選手に挑み、良い結果を残してくれることを期待します。 (石井久伸)

小学生バドミントン連盟

9月29日(土)大府市民体育館で、第24回愛知県小学生大会団体戦を行いました。当日は雨模様でしたが、団体戦ということもあり、いつも以上に応援にも熱が入り、大いに会場が沸いた1日になりました。

勝ち上がった男子6団体、女子8団体が、2月11日(祝)に、岐阜県メモリアルセンターで行われる、第22回東海小学生バドミントン大会団体戦に出場します。

(鈴木由紀江)

	男 子	女 子
優勝	はりーあっぷジュニア	師勝ジュニアバドミントンクラブ
準優勝	西尾ジュニア	西尾ジュニア
3位	岡崎ジュニアB.C	はりーあっぷジュニア
4位	大里東ジュニア	S.G.Uジュニアバドミントンクラブ
5位	石ヶ瀬スポーツ少年団	長久手ジュニアバドミントン部
6位	師勝ジュニアバドミントンクラブ	T-Jump Jr.
7位		富士見ジュニアバドミントンクラブ
8位		石ヶ瀬スポーツ少年団

市町村だより

知多市体育協会バドミントン連盟

◆新春バドミントン大会開催

平成31年1月6日(日)メディアス体育館ちたにおいて、新春らしく「松」「竹」「梅」の混合ダブルスに42組と、小学生学年別ダブルス38組の合計160名の参加で白熱の試合を展開した。結果は下記のとおり。

種 目	優 勝	準優勝	3 位
混合 ダブルス 松の部	小室喜稔 小室友紀 (のぶたんず)		
混合 ダブルス 竹の部	中村佳和 中村美和子 (新田ク)	筒井雅人 神谷歩 (スマイル)	相馬秀記 岡崎奈々 (つづじ)
混合 ダブルス 梅の部	吉川裕貴 臼沢純子 (旭北)	矢川勇 深川みゆき (旭北)	野村大祐 中村咲楠 (チームN)
小学4年 ダブルス	黒原洋彦 小田凜太郎 (知多J)	中井琴音 松久保ひかり (知多J)	坂上寛 斎藤あづさ (つづじ)
小学5年 ダブルス	賢生悠介 小田琥太郎 (知多J)	江口梨湖 片岡愛菜 (八幡)	江野本愛実 三宅優空 (旭北)
小学6年 ダブルス の部	古川杏奈 松田茉緒 (知多J)	白沢紅映 田中翔 (知多J)	豊田和舞 奥田舞斗 (八幡)
			服部憲信 石丸龍一 (八幡)

稲沢市バドミントン協会

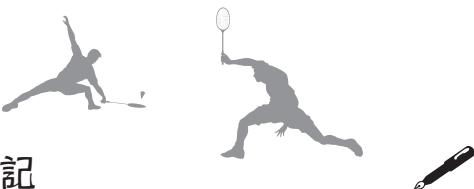
◆第13回 稲沢市オープンバドミントン交歓会

2019年1月13日(日)稲沢市平和町体育館で、第13回稲沢市オープンバドミントン交歓会を開催した。今回初めて、当日「くじ」で順番を決め、15分間隔で交流試合を行う方式で、男子52名、女子31名の参加者が、ひとり8試合、いつもの試合とは違った、和気あいあいとした雰囲気で、他のクラブの参加者とも交流を深めることができた。

次回は6月16日(日)。昨年からオープン大会なので、どなたでも大歓迎です。

詳細は4月以降のHPをご覧ください。

<https://inabado.jimdo.com/>



編集後記

平成最後の〇〇〇〇が流行っています。そう…目覚ましい小学生の活躍や、S/Jリーグの嬉しい報告など「平成最後のバドミントン愛知」の締めくくりは、明るい未来に向かっての記事を中心に掲載しました。次号は、新たな時代へ一歩を踏み出す新元号下での発刊です。県協会も役員改選で、新役員・委員を迎える、フレッシュな気持ちと新体制で取り組みますので弊委員会活動に対し変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、また同時に小誌に対する読者の皆さんからの忌憚のないご意見ご要望をお待ち申し上げます。

(広報委員長 岩田崇)

連絡 投稿

広報誌・公式サイトの管理・運営をお手伝い頂ける方を募集しています。

〒452-0008 清須市西枇杷島町地領 1-9-9

広報委員長 岩田 崇

TEL (052) 501-2602

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス
<http://www.badminton-aichi.com/>

Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com